

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-01-14
事務事業名	次世代育成支援対策事業		根拠法令・要綱等
事業開始年度	平成15年～		
総合計画	大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	子育て支援	職・氏名
			子育て支援係・岡本洋子
			電話
			64-1853

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	すべての子ども、子育て家庭、子育て支援関係者など
目的(何のために)	次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ育つための環境を整備する。
行政活動(どのような方法で)	次世代育成支援対策推進法に基づき、次世代育成支援に関する行動計画を策定し、必要な施策を総合的・計画的に推進する。(「おぎゃと21」の開催・子育て講座の開催)
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	子どもが健やかに成長すると共に、子育ての楽しさが実感できるようにする。また、地域で子育てを応援しようという機運を高める。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	次世代育成支援隊崎協議会開催回数	回	5	2	5
	子育て講演会開催回数	回	1	1	1
	おぎゃと21協力団体数	団体	-	14	11
	おぎゃと21参加人数	人	-	6,000	7,000
事業費	直接事業費	千円	2,024	1,457	1,265
	人件費		10,220	5,880	3,066
	事業費計		12,244	7,337	4,331
財源	国県支出金		357	500	400
	受益者負担				
	市一般財源	千円	11,887	6,837	3,931
	必要人員	人	1.25	0.75	0.48
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	子育て講演会開催回数	説明			
	結果指標量	回	1	1	1
	対前年比	%		100.0%	100.0%
	活動コスト	円	30,000	30,000	15,000
	単位当たりコスト	円	30,000	30,000	15,000
結果指標	結果指標名	説明	おぎゃと21in備前参加人数		
	結果指標量	人	6,000		7,000
	対前年比	%	-		116.7%
	活動コスト	円	1,000,000		800,000
	単位当たりコスト	円	167		114

事業の成果			
成果指標名	おぎゃと21in備前参加人数	式又は説明	おぎゃと21in備前参加人数
	17年度		18年度
成果指標量			19年度
対前年比			
到達目標値	6,500	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	B
	現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
対象	事業開始当初の目的から変化している		
	対象を見直す必要がある		
	事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	次世代育成支援対策推進法により策定が義務付けられた次世代育成支援行動計画に基づき実施する事業である。	
行政活動	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	本市が関与しなければならない事業である		
市の関与	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E>	C
		課題認識	
コスト	コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
	コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
	サービスを低下させずにコストを低減することは困難	計画の推進や次世代育成支援策の推進にあたっては、庁内各課や関係機関と連携を密にしながら効果的な推進を必要とする。	
効率性の評価	受益者負担額を見直す余地がある		
	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	最適な手段を求め職場内で改善に努めている		
職場	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
目的達成度	事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A-E>	C
	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	課題認識	
	成果指標は前年度より向上している		
成果向上の可能性	成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	今後、成果指標は向上する余地がある		
	事業について積極的に情報提供している		
市民参画度	事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	事業費を減額したが、このことにより実施内容が低下しないよう検討する。
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量	7,000
	成果指標量	6,500.00

総合評価		評価区分<A-E>	C
子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりを整えていくことは本市にとって重要な課題であり、平成17年度に策定した次世代育成支援行動計画に基づき総合的・計画的に推進していく必要がある。この計画に基づき18年度から参加・提案型の子育てイベント「おぎゃと備前21」実施したが今後も事業の実施にあたっては、関係機関や団体と協働して地域の子どもの健やかな成長や子育てを支援するとともに地域ぐるみで子育てを支え合う気運を育成していく必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	18年19年度は事業の実施方法やボランティアや関係団体等協力を得ながら検討する。		限られた財源の中で市民ニーズの強い事業の中で満足度が得られる。